（様式４　Ａ４版縦型）

|  |
| --- |
| 履　　　　　歴　　　　　書 |
| 氏　名 | ふりがな | 男・女 | 写真糊付け欄4cm×3cm |
|  |
| 生年月日（和暦） | 年　　月　　日（歳） |
| 現住所 | ふりがな | 電話日中の連絡が可能な番号 |  |
|  |
| ＦＡＸ |  |
| メールアドレス |  |
| 学　　　　　　　　歴（高校入学以降） |
| 年　　月 | 事　　　　　　　項 |
|  |  |
| 職　　　　　　　　　　　　　　　　歴 |
| 　　　年　　月 | 事　　　　　　　 項 |
|  |  |
| 免　　　許　　　・　　　資　　　格 |
| 　　　年　　月 | 事　　　　　　　　項 |
|  | 注）看護師等医療関係の資格については免許番号を記載すること。 |
| 学会及び社会における活動等 |
| 年　　月 | 事　　　　　　　項 |
|  |  |
| 職　務　の　状　況（現在及び過去の主要な教育関係の職務） |
| 勤 　務 　先 | 職名 | 学部、学科等（所属部局）の名称 | 担当授業科目名 | 単位数 | 総授業時間数 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 賞　　　　　　　　　罰 |
| 年　　月 |  |
| 上記のとおり相違ありません。　　年　　月　　日　氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |

（注）　書ききれない欄がある場合は、適宜欄の大きさを調整しても良い。

（様式５　Ａ４版縦型）

|  |
| --- |
| **教　育　・　職　務　実　績　書**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　　　　　　　　　　　印 |
| 教育上の能力に関する事項 | 年 月 日 | 概　　　　　　要 |
| １　教育方法の実践例 |  |  |
| ２　作成した教科書、教材 |  |  |
| ３　教育上の能力に関する客観的評価 |  |  |
| ４　当該科目に関する授業概要と将来展望 |
| 職務上の実績に関する事項 | 年 月 日 | 概　　　　　　要 |
| １　大学運営に関わる委員会活動等の実績 |  |  |
| ２　特許等の取得 |

（注）1.「３　教育上の能力に関する客観的評価」については、卒業研究の研究指導実績、大学院博士前期課程（修士課程）又は博士後期課程における研究指導実績、授業評価等を記載すること。

（注）2. 「４　当該科目に関する授業概要と将来展望」については、当該科目に関する授業概要と学部又は大学院の主要担当予定科目の授業計画を記載すること。

（様式６　Ａ４版縦型）

|  |
| --- |
| **業　　　績　　　調　　　書**　　年　　月　　日氏　名　　　　　　　　　　　　印Ⅰ　著書、学術論文等 |
| 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 論文の種類 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等の名称 | 概　　　　　要 |
| （著書）１２ |  |  |  |  |  |
| （学術論文）１２ |  |  |  |  |  |
| （その他）１２ |  |  |  |  |  |

（注）１　著書、学術論文等（発行又は発表が予定されているものを含む。）について作成すること。

２　「著書、学術論文の名称」の欄には、著書、学術論文、及びその他の別に、それぞれ年月日順に、番号を付して記入すること。さらに、学術論文については、査読の有無を明記すること。

３　「論文の種類」の欄には、原著論文、研究報告、総説等を記入すること。

４　「概要」の欄には、著書、学術論文等の概要について、各々２００文字程度で記入すること。なお、共著の場合は、担当部分及び頁数を明記し、また、本人の氏名を含めて著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順に記入すること。

５　「その他」の欄には、翻訳、書評、資料紹介、調査報告等を記載すること。その際、それぞれ区分し、当該小見出しを記入すること。翻訳は、まず原著者名を書き、下段に邦訳の表題を記入すること。原書名の記入が必要な場合は、「概要」欄に記入すること。

Ⅱ　学会発表等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 演　　題　　名 | 単著、共著の別 | 発表の年月 | 発表学会等の名称と開催地 | 概　　　　　要 |
| １２ |  |  |  |  |

（注）１　学会発表等について作成すること。

　　　２　「演題名」の欄には、年月順に番号を付して記入する。

　　　３　「概要」の欄には、学会発表等の内容について、１００文字程度で記入すること。なお共同発表の場合には本人を含めて発表者全員の氏名を抄録に記された順に記入し、実際の発表者に下線を付すこと。

Ⅲ　その他

|  |
| --- |
|  |

（注）「著書、学術論文等」あるいは「学会発表等」に含まれない業績について作成すること。（様式自由）